**覚　書**

（貸主）○○○○（以下「甲」という。）と（借主）○○○○（以下「乙」という。）は、甲乙間の令和○年○月○日付金銭消費貸借契約（以下「原契約」という。）に関して以下の事情が発生したことから、次のとおり覚書（以下「本覚書」という。）を締結する。

【事情】

乙が、甲に対して原契約で定めたとおりに貸付金を一括で弁済することができなくなったため、支払方法を分割払いに変更することになった。

第１条（元金の支払方法）

甲及び乙は、原契約における元金の支払方法を以下のとおり変更する。

【変更前】

乙は、甲に対し、貸付金元金を令和○年○月○日限り、甲方に持参又は甲指定の振込口座に振り込む方法により支払う。ただし、振込手数料は乙の負担とする。

【変更後】

乙は、甲に対し、貸付金元金を以下のとおり分割して甲方に持参又は甲指定の振込口座に振り込む方法により支払う。ただし、振込手数料は乙の負担とする。

⑴　令和○年○月から令和○年○月まで、毎月末日限り　金○○円ずつ

⑵　令和○年○月末日限り　金○○円

第２条（期限の利益の喪失）

乙が前条の金員の支払いを１回でも遅滞したときは、乙は、当然に本契約から生じる一切の債務について期限の利益を失い、甲に対して同債務を一括して支払う。

第３条（原契約維持）

甲及び乙は、本覚書に記載なき事項は、原契約に定めるところによることを確認する。

本覚書締結の証として、本覚書２通を作成し、甲乙相互に署名又は記名・捺印のうえ、各１通を保有することとする。

令和　　年　　月　　日

甲　　　　　　　　　　　㊞

乙　　　　　　　　　　　㊞